

市指定天然記念物「如法寺のイチョウ」の現状変更について

1．如法寺のイチョウ概要（昭和 60 年 4 月 26 日指定）

推定樹齢は約 500 年で市内のイチョウでは最大の巨樹で、乳神としての名木でもある。

2．経過

平成 10 年 9 月 台風により幹の一部折損

平成 12 年 7 月 樹木医による樹勢診断を実施

診断結果

- ・幹の一部が折れてしまい、イチョウ全体のバランスが崩れてしまい今後の台風災害が危惧される。そのため、樹勢の衰え及び天然記念物としての価値に支障の無い程度の幹の伐採が必要である。

平成 13 年 樹勢回復事業実施

2 月～ 3 月

- ・樹木医のいる業者へ業務を委託。
- ・イチョウ上部の剪定については、平成 12 年の診断結果に基に樹木医の判断により施工。



伐採前



伐採後



平成19年3月7日 撮影

幹伐採予定箇所



平成19年8月3日 撮影